

京都には、
明治から昭和にかけて
建てられた「モダン建築」が
数多く現存しています。
実際に訪れてみれば、
きっと深く知りたくなるはず。
ようこそ、名建築の旅へ。



京都建築探訪



京都のモダン建築を”訪ねる”

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
1	歩いて、食べる京都のおいしい名建築さんぽ	甲斐みのり著 エクスナレッジ	2022	開架 K1 523.162 Ka21 118027174
2	京都レトロモダン建物めぐり	片岡れいこ著 メイツユニバーサルコンテンツ	2021	開架 K1 523.162 Ka83 118021570
3	モダン建築の京都100/Modern architecture in Kyoto 100, 第1冊：ワールド編	石田潤一郎, 前田尚武編著 Echelle-1	2021	開架 K1 523.162 72 118023259
4	京都・大阪・神戸名建築さんぽマップ：厳選50ルートから選べる, 最新版	円満字洋介執筆・写真撮影 エクスナレッジ	2016	開架 K1 523.16 E62 110996992
5	ぼくらの近代建築デラックス！	万城目学, 門井慶喜著 文藝春秋	2012	開架 K1 523.1 Ma34 110982028
6	京都洋館ウォッチング	井上章一著 新潮社	2011	開架 K1 523.162 57 110976601



「京都博覧会場之図」

明治4年（1871）、日本初の博覧会である京都博覧会が開催されました。ヨーロッパで盛んだった博覧会が、幕末の動乱後の京都復興のため日本に導入されたものといわれています。

本図は大宮御所・仙洞御所の様子を描いたもので、第6回京都博覧会開催中に制作されました。当初は西本願寺や建仁寺、知恩院が博覧会の会場となっていたのですが、3回目からは京都御苑の建物を使用して開催されるようになり、後に京都御苑内に博覧会場が設けられました。



京都のモダン建築を”知る”

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
7	モダン建築の室内意匠と家具：新島襄旧邸・長楽館・大丸ヴィラのインテリア(京都市文化財ボックス；第37集)	京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課	2024	開架 K1 529 Ky6 118035118
8	京都文化博物館別館：重要文化財建造物旧日本銀行京都支店のいま・むかし・みらい	京都文化博物館	2024	開架 K13 521.8 Ky6 118035116
9	絵になる京都の建築	山田雅夫著 ハモニカブックス	2023	開架 K1 521 Y19 118033759
10	京都近現代建築ものがたり(平凡社新書；985)	倉方俊輔著 平凡社	2021	開架 K1 521.6 Ku52 118024443
11	京都のモダニズム建築/Modernism architecture in Kyoto	河野良平著 美学出版	2019	開架 K1 523.162 Ko76 118017392
12	Modern Kyoto : building for ceremony and commemoration, 1868-1940	Alice Y. Tseng University of Hawai'i Press	2018	開架 K1 521.6 Ts12 118010433
13	京都近代の記憶：場所・人・建築	中川理著 思文閣出版	2015	開架 K0 521.6 N32 110994544
14	関西のモダニズム建築：1920年代～60年代、空間にあらわれた合理・抽象・改革	石田潤一郎監修 淡交社	2014	開架 523.16 I72 110989298
15	京阪神モダン生活	橋爪紳也著 創元社	2007	開架 K0 216.206 H38 110952889
16	京都の赤レンガ：近代化の遺産	前久夫, 日向進編 京都新聞社	1997	開架 K1 524.46 Ky6 110579992
17	赤れんが物語	水野信太郎監修・解説 舞鶴市[立]赤れんが博物館	1993	開架 K41-1 524.27 Ma31 110906547



「第四回内国博覧會平安神社大極殿之園」

内国勸業博覧會は明治政府の殖産興業政策として、計5回開催されました。京都で開催された第4回は、日清戦争やコレラ流行などの困難があったにもかかわらず、第3回を超える103万人の来場者を集め、観光都市京都の出発点となりました。

本図では、近代化の象徴である琵琶湖疏水・西洋建築の博覧会場と、日本の伝統的な平安神宮・東山の山並みが配られています。和洋が並び立つ新しい京都を示すものとして、当時多くの絵図で採用された構図です。



写真・絵葉書が写すモダン建築

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
18	戦後京都の「色」はアメリカにあった! : 占領期カラー写真が描く「オキュパイド・ジャパン」とその後, 増補新版	植田憲司, 衣川太一, 佐藤洋一編 小さ子社	2023	開架 K1 216.206 Ky6 118029840
19	戦後京都の「色」はアメリカにあった! : カラー写真が描く《オキュパイド・ジャパン》とその後	植田憲司, 衣川太一, 佐藤洋一編 京都府京都文化博物館	2021	開架 K1 216.206 Ky6 118023512
20	集う京都20世紀 : ホテル・百貨店・四条通の絵葉書	森安正, 生田誠, 高田聡編 京都絵葉書研究会	2018	開架 K1 216.206 Mo45 118008718
21	京都の洋館	石川祐一, 神崎順一写真 光村推古書院	2016	開架 K1 523.162 76 110998699
22	絵はがきで見る京都 : 明治・大正・昭和初期	森安正編 光村推古書院	2012	開架 K1 216.206 Mo45 110980403
23	京大の時計台 : 飯野春樹写真集	飯野春樹著 光村印刷	1994	開架 PK1 748 27 110535134



新・京都学講座の講師 円満字洋介氏の著作

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
24	京都の風水地理学 : 平安京は正三角形でできていた! (じっぴコンパクト新書 ; 319)	円満字洋介著 実業之日本社	2017	開架 K1 518.8 E62 118001625
4	京都・大阪・神戸名建築さんぽマップ : 厳選50ルートから選べる, 最新版	円満字洋介執筆・写真撮影 エクスナレッジ	2016	開架 K1 523.16 E62 110996992
25	京都まち遺産探偵	円満字洋介著 淡交社	2013	書庫 K1 521.8 E62 110983407
26	京都・大阪・神戸<名建築>ガイドマップ /KYOTO OSAKA KOBE Architectural Guide Map	円満字洋介著 エクスナレッジ	2011	書庫 K1 523.16 E62 110976600
27	近代京都の名建築	京都市文化観光資源保護財団	1994	開架 K1 523.162 Ky6 110578578

*執筆は京都近代建築史研究会。



「歴代宸翰展拝会」(「大正大禮京都府記事関係寫真材料」)

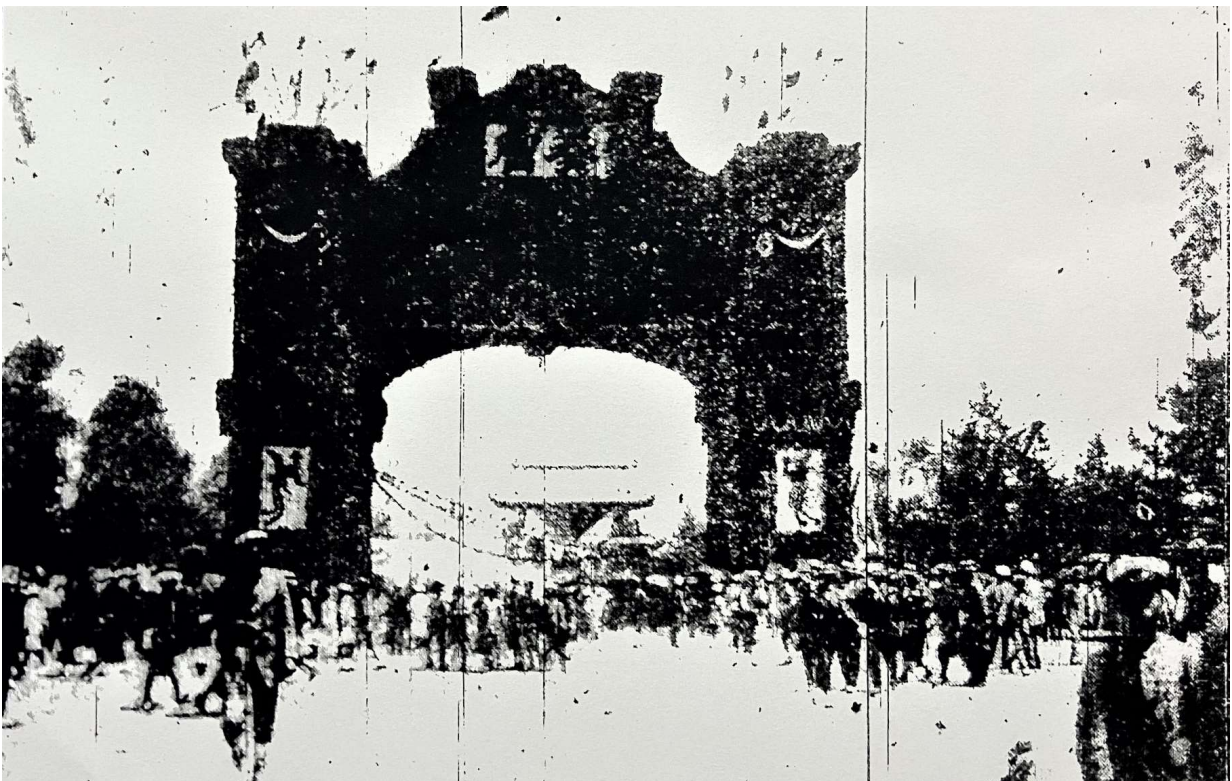
後に京都大学の建築学科初代教授となる武田五一の設計により、明治42年(1909)に建てられた京都府立図書館。これは、大正4年(1915)の大正大礼に際して、宸翰展が開催された時の写真です。京都府立図書館は阪神・淡路大震災で損傷を受け、平成12年(2000)に建て替えられましたが、現在でも東側外壁のみ保存されています。イギリスで石材の代用として登場した素焼きの外装材であるテラコッタを、日本で最初に使った建築ともいわれています。

※紹介している資料はすべて京都学・歴史館所蔵です。



「三井銀行ノ裝飾」（「大正大禮京都府記事關係寫眞材料」）

大正4年（1915）の大正大礼では、京都中が飾り付けられました。写真は、前年の大正3年（1914）に煉瓦造で建てられた三井銀行京都支店周辺の風景。三井銀行京都支店は昭和59年（1984）に建て替えられましたが、強い保存要望を受け、交差点に面する部分の列柱や入り口部分のアーチなど一部が残されることになりました。



「緑門」（『京都日出新聞』明治45年6月16日）

第4回内国勸業博覧会以降、岡崎は様々な催しの場となり、その度にシンボルとして記念柱や記念門が建てられました。昭和3年（1928）の昭和大礼にあたって建てられた大鳥居は、現在でも見ることができます。写真の緑門は、第二琵琶湖疏水の建設、上水道の敷設、道路拡幅を伴う電気鉄道の敷設という三大事業の完工式に際して建てられたものです。高さは22メートルあり、大鳥居の高さ24メートルと並ぶものでした。